



三号池そばにある岩崎家は、堂々とした武家門が構えられ、数十トンはありそうな巨石など大小の石をたくります。

平戸藩時代の平戸往還が岳野三号池の南を通り、西に向かえば八の久保町を通って北松浦郡佐々町境に出ますが、その途中には平戸松浦と宗家の相神浦松浦が永禄七（一五六四）年に激戦を展開した半坂古戦場があります。

岳野三号池そばで農業にいそしむ堤明弘さん（四十八歳）は「遅い梅雨明けだったことは、八月中旬から小雨状態が続いて心配しましたが、三つの溜め池があったので十分に水を使うことができ、おかげでまずまずの作況を得ることができました」と数百年来の水源の恩恵に感謝されていました。

筒井隆義

歴史散歩



第533回

旧家と堤と鎮守の森（岳野町）

旧皆瀬村の北部にある岳野町は、標高二五〇メートルほどの高地にあり、豊かな農村風景を今に伝えていいます。水田の実りを約束する三つの堤、そのそばに祀られている山祇大明神と背後に横たわる椎の古木の鎮守の森、平戸藩士の流れをくむ岩崎、近藤両家の落ち着いたたたずまいと、百年以上変わらぬ懐かしい風景を残しています。

みに使った石垣も見事です。当主の岩崎土徳さん（六十九歳）は「祖父土衛から聞いた話では、わたしで六代目になる、ということでした」と話されました。

岩崎家は中里にも広い田地を持っていたということで、考えられるのは江戸時代中期に相浦川沿いの低地から高地の岳野に移り、近藤家と共に開拓に当たったのではないのでしょうか。近くの墓地にある地藏尊の台座には明和七（一七七〇）年、女人講寄進の灯籠は安永二（一七七三）年の年号が記されており、江戸時代中期であるこの時代には、一応村の形が整ったと思われる。



SASEBO

編集後記

本年度の戦略産品「みかわち焼・世知原茶・九十九島かき」の生産者の皆さんの取材を通じて、改めて本市特産品の素晴らしさを実感しました。生産者の皆さんの優れた技術や情熱のほか、歴史的な背景や自然の恵みから生み出される特産品。いろいろな話を伺い、実物を目の当たりにすると、自然と愛着がわいてきました。市の広報担当として、今まで何も知らなかったことを反省しています。今後はわたしたちのふるさとの素晴らしい特産品を自分の生活にできる限り取り入れていきたいと思っています。(Y)



●考えていただいた人
吉田愛永さん
(愛宕中学校1年)

元気な朝ごはんレシピ

じゃがいもおやき

材料・4人分
かにかまぼこ 4本
小ネギ 30g
チーズ 20g
ジャガイモ 1個
卵 1個
ご飯 100g
塩 小さじ1/3
こしょう 適量
油 小さじ1

作り方

- かにかまぼこ、小ネギ、チーズは細かく切る。ジャガイモはすりおろす。
- ボールに①、卵、ご飯、塩、こしょうを入れてよく混ぜる。
- フライパンに油を熱し、生地を丸くなるように落として、両面を焼く。好みでマヨネーズをかけて出来上がり。

●ワンポイント
長崎特産のジャガイモを使っています。簡単に作ることができ、しかも栄養のバランスが取れています。かにかまぼこ、小ネギをほかの物に替えることもできます。

●1人分の栄養価
熱量126kcal、たんぱく質6.2g
脂質3.8g、塩分1.1g

市長日記

七十に 近き春にぞ あひの浦 九十九島を いきの松原

「七十に 近き春にぞ あひの浦 九十九島を いきの松原」伊能忠敬
ある敬老会の席で、ある方から「市長、この短歌を知っていますか」と教えていただいたのが、この短歌です。
この短歌は江戸時代に日本全国を行脚し、測量技術を使って詳細な日本地図「大日本沿海輿地全図」を作り上げた伊能忠敬が詠んだものです。
「70歳近くになっての春を、ここ相浦で迎えることになったが、99歳までも生き続けて、この測量を続けていきたいものだ」という思いが込められているそうです。
「文化9(1812)年の暮れも近い12月8日早朝から、当時は平戸領であった早岐浦を起点として、測量が開始されました。そして、翌年の1月4日、佐世保浦を測量しながら相浦にさしかかったときに、目の前に広がる九十九島の美しい島影を自分の高齢を押しての測量事業に重ね合わせて詠

まれた短歌だと思われる」という解説もしていただきました。
九十九島は約200年前に伊能忠敬が感動した美しい景色と今もほとんど変わらない景色であろうし、自然を残していると思います。
わたしたち市民は、この天から与えられた美しい九十九島を、伊能忠敬がロマンを持ってわたしたちに伝えてくれたように、いつまでも後世に伝えていかなければならないと思います。この短歌をわたしだけで独り占めするのはもったいないと思い、皆さんにもご紹介します。



伊能忠敬肖像画(伊能忠敬記念館蔵)

佐世保市長 朝長 則男

情報クリップ



金メダル獲得!
「東京2009アジアユースパラゲームズ」(9月11-13日、東京都)で水泳競技の日本代表選手として参加した岩本将希さん(九州文化学園高校2年)が10月23日に市役所を訪問。S8クラス(軽度の片まひなど)100m自由形で金メダルを獲得したことを朝長市長に報告しました。

トリック・オア・トリート!
10月31日、佐世保三ヶ町商店街アーケードで「ハロウィーンイベント」(America In Sasebo実行委員会主催)が開催。魔女やお化けなどに仮装した子どもたちが軒ずつ商店を訪ね、「トリック・オア・トリート! (お菓子をくれなきゃいたずらするぞ)」と声を掛けてお菓子をもらいました。イベントには、先に米海軍佐世保基地で開催されたハロウィーンに佐世保の子どもたちを参加させてもらったお礼に基地の子どもたちも招待され、佐世保の子どもたちと一緒にイベントを楽しみました。

城島健司旗争奪野球大会
10月18日、佐世保野球場で「第6回城島健司旗争奪軟式野球選手権大会」が開催。21の中学校野球部と14の小学校軟式野球クラブが参加しました。開会式に出席した城島選手は「僕は4、5歳のころから王さんの記録を抜きたいという夢を持っていた。その夢があったからこそプロになれ、メジャーリーグに挑戦できた。みんなも夢を持ち、それに近づくための努力を続けてください」とあいさつ。選手たちは目を輝かせながら聞いていました。

